

フィリピン
日本

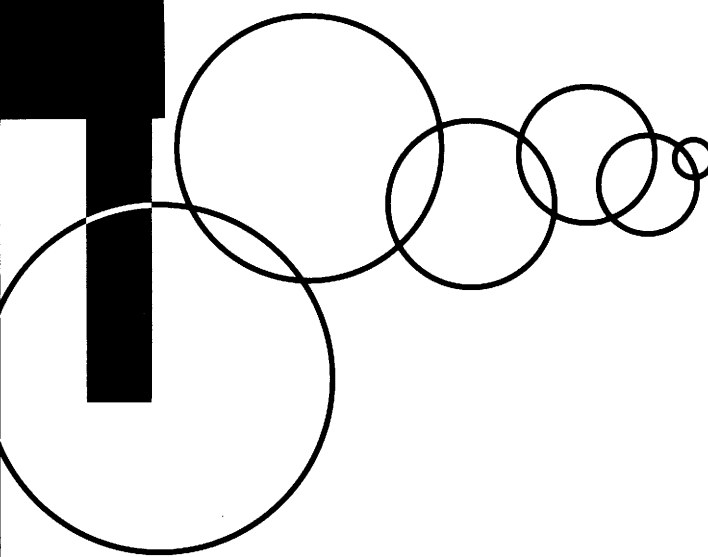
共同研究



ASEAN 等現地研究シリーズ
No. 26

フィリピンの国内資源 動員とその利用

ラウル・V・ファベリア 編
坂井秀吉



アジア経済研究所
1995

ASEAN 等現地研究シリーズ

No. 26



フィリピン日本共同研究

フィリピンの国内資源動員と その利用

ラウル・V・ファベリア

坂井秀吉

編

アジア経済研究所

1995

フィリピンの国内資源動員と その利用

ASEAN等現地研究シリーズ No. 26

フィリピンの国内資源動員とその利用

編 者—— ラウル・V・ファベリア
坂井秀吉

発行所—— アジア経済研究所

〒162 東京都新宿区市谷本村町 42
電話 (03) 3353-4231

印刷所—— 倉敷印刷株式会社

1995年3月30日

©ISBN4-258-20026-3 C3033

Printed in Japan

IDE

ISBN4-258-20026-3 C3033

目 次

まえがき

第1章 フィリピンの余剰蓄積動向に関する

マクロスタディ

—— 1970～92年 —— ジョセフ・Y・リム…3

はじめに…3

I マクロ経済の概況…4

II フィリピン経済の蓄積に関する動向…10

III 制度組織の投資行動…11

IV 国民経済に対する資金源…12

1. 家計および民間非法人企業の純貯蓄…12

2. 民間企業の純貯蓄…13

3. 一般政府の純貯蓄…13

V 経常収支赤字と外国貯蓄…14

VI 資本蓄積の深刻な問題…15

VII 家計および民間非法人企業の所得と支出勘定…15

1. 受取り側の項目…20

2. 支出側の項目…21

VIII 民間企業の収益・支出勘定…23

IX 政府系企業の収益・支出勘定…28

X 一般政府の歳入・歳出勘定…29

1. 受取り…29

2. 支払い…29

XI 対外取引統合勘定…34

1. 輸入…35
2. 輸出…36
3. 海外出稼ぎ雇用労働者送金…36
4. 外国債務への利子支払い…37
5. 経常収支赤字と 1990 年代前期の経済的停滞…37

XII 要約と結論…37

第 2 章 フィリピンにおける貯蓄と投資の

決定要因 ————— ホノリナ・B・タンフェコ…43

I 家計と民間非法人企業の貯蓄…43

II 貯蓄と投資の決定要因…53

1. 国民総貯蓄…53
2. 国内総投資…61

III 結論および政策への含意…63

第 3 章 資源動員と産業組織 ————— エマニエル・S・ディオス…67

はじめに…67

I 株式対ローン…69

II 商業銀行の役割…74

III 財閥…76

IV グループと市場の失敗…81

V 競争と資産の特異性…83

VI 投資選択とグループ組織…87

VII 成長…90

VIII 政策の掛かり合い…92

第4章 フィリピンの銀行制度

——過去の経験と教訓—— 坂井秀吉…101

はじめに…101

I フィリピン金融制度の概観…102

1. フィリピン金融制度の変遷…102
2. フィリピンでの金融停滞と金融仲介の規模縮小…108

II フィリピンにおける DOSRI ローンと

兼任重役制の相互分析…112

1. DOSRI ローン…113
2. 兼任重役制と管理職…115

III フィリピン金融制度の構造と政策改革の分析…118

IV フィリピン金融制度の背景と最近の制度改革…126

1. 中央通貨委員会…127
2. 都市商業銀行…132
3. 貯蓄銀行…133
4. 農村銀行…136
5. 政府特殊銀行…140

まとめと結論…145

第5章 マクロ経済安定下での投資および

資源配分—— ラウル・V・ファベリア…151

はじめに…151

I マクロ経済の不安定性…155

II フィリピンにおける民間投資の決定要因…158

III データ…159

IV 実証結果…160

1. 投資全体の行動…160
2. 産出の成長…163

3. 自己資本収益…167
4. 初期払込み資本におけるシェア…168
- V マクロ経済の不安定性の原因…170
 1. 不況と好況のメカニズム…170
 2. 不況—好況サイクルからの脱出…173

第6章 フィリピンにおける租税と

民間部門資源の動員 ————— ベンジャミン・E・ディクノ…177

はじめに…177

I 近年のフィリピン史にみる公共財政…178

II フィリピン租税制度の概観…186

1. 改革以前（1981～85年）…186
2. 1986年税制改革パッケージの特徴…187

III 1986年税制改革計画の評価…190

IV 近年の税制政策…191

V 税制改革過程からの教訓…194

VI 結論と政策インプリケーション…196

第7章 フィリピンにおける投資計画の理論と

実際 ————— カイエタノ・W・パデランガ…199

I 理論…199

1. プロジェクトあるいはプログラム評価と費用便益分析…199
2. プログラミングの手法…200
3. 投資プログラミングの目的…203
4. 複数のゴールと資金プログラミング…205

II 制度…207

1. 国家経済開発庁…208
2. その他の機関…215

3. 資金源…219
 4. 民間部門…221
- Ⅲ フィリピンのプログラミング機関がもつ配分についての含意…222
1. 複数の層と配分基準のばらばらな適用…222
 2. 地理的均衡の導入…224
 3. タイミングと予算の制約…225
 4. 資金源によって課される制約…226
- Ⅳ 提言…227
1. 直接的提言…227
 2. 間接的な提言…229

〈執筆者一覧〉

第1章 Joseph Y. Lim

Associate Professor, School of Economics, University of the Philippines

第2章 Honorina B. Tanhueco

Officer-in-Charge, National Policy Planning Staff, National Economic and Development Authority

第3章 Emmanuel S. de Dios

Associate Professor, School of Economics, University of the Philippines

第4章 坂井秀吉

アジア経済研究所在マニラ海外調査員

第5章 Raul V. Fabella

Professor and Director for Research, School of Economics, University of the Philippines

第6章 Benjamin E. Diokno

Professor and Secretary, School of Economics, University of the Philippines

第7章 Cayetano W. Paderanga, Jr.

Professor, School of Economics, University of the Philippines and Member, Monetary Board, Bangko Sentral ng Pilipinas